





# オーストラリアの日本語の授業 と日本の英語の授業の比較

## ① 調べた動機

理由は二つあります。一つ目は、私がブラーワーカレッジで日本語の授業を受けた時に、日本の英語との似ている所や違う所を発見し、寧ろ興味を持ち、と日本語の授業について知りたいと思ったからです。二つ目は、オーストラリアの日本語の授業の仕方が日本の英語の授業に役立つことがあるのでは、ないかと思ったからです。

## ② 調査方法

- 授業を受ける ■ インタビュー ■ 生徒のノート ■ 小学校

## ③ 実際に受けた一日目の授業

〈やったこと〉

- ① 自己紹介
- ② 減る減るゲーム
- ③ 何何ゲーム
- ④ 日本の文化やアニメなどのゲーム

〈授業中の様子〉

- ① サンフロン先生がとても掃気で面白い。  
日本語教室の壁に先生が愛している  
トムクルーズの写真が沢山貼ってある。  
先生は日本が大好き。日本に「留学経年  
が何回かあるほど。今どきの言葉を知っている  
ほど日本語がとても得意。
- ② とても楽しみながらやっている。  
皆んな積極的<sup>的</sup>に手を上げて発言を  
している。上げている手はパーでほ  
とく、人指し指<sup>指</sup>びだけ<sup>だけ</sup>ブラーワーカレッジ  
の生徒は、スカイツリーの高さや、日本の  
アニメなど日本人よりも詳しく、すぐに答えられる。





## 4 実祭に受けた二日目の授業

### ＜やったこと＞

- ① 自己紹介
- ② ウォーキングボールと三浦市でそれぞれ出来ること、見えることを日本語で書く。  
例えは...  
☆大きなキャベツ畑を見ることが出来る。  
☆美味しいマグロを食べることが出来る。  
☆綺麗な海で泳ぐことが出来る。
- ③ 画用紙で本を作り、上記の内容を書く。



### ＜授業中の様子＞

- ① サンボン先生がとても面白く、授業中のクラスの雰囲気がとてもいい。
- ② やったこと②の内容で、ブローカレッジの子一人が、「ウォーキングボールでは「ランマック」が出来る」と言っていた。「ランマック」とは、朝に車で走って友達とマックに行くという意味だそうです。みんな「それはどこでだって出来る」と言っていた。
- ③ 生徒はとても積極的そして楽しそうに授業を受けている。



## 5 小学校

### ＜やったこと＞

#### 1. 1時間目の授業(3年生くげいの生徒と)

- ① 自己紹介
- ② カルタ
  - ① 3から4班に別れて行う。
  - ② 日本で売っている普通のカルタ。
  - ③ 先生が日本人の綺麗な発音で覚えても分える良い機会だから、読んで欲しいとお見せさね、私たちが読み手となる。
  - ④ まだ小さな子どものため、混乱しない様に読むのは初めの一文字のみである。
- ③ ストリートビューで日本へ
  - ① 大きなスクリーンに映し、みんなで三浦市の色々な所を見る。
  - ② 4甲陽町にある民家の引き戸を見て、「何これ？ドアの形が違うね」と生徒が指をさして言ったら先生が「いいね。本当だね」と言い、色んな発見がある。

#### 2. 三時間目の授業(一年生くげいの生徒と)

- ① 自己紹介
- ② トトロのお面作り

### ＜全体での授業の様子＞

- ① 先生が授業が始まってから、「みんな元気ですか？」と聞き、生徒がみんなで「元気〜！」というのを習慣だそうだった。また、先生はとても明るく、生徒も積極的に手を上げて発言し、楽しく勉強している。
- ② カルタが全てジブリの絵が書いてある物。そして夕方空にはドラエモンの人形がある。たまに学校でみんなが日本のアニメやジブリを見ていて、みんな詳しく日本のアニメが大好き。
- ③ お片づけタイムの時に、日本語のお片づけの曲が流れている。

### ＜休み時間＞

授業中にイ中良くな。たみんなと、おたごころせかくれんぽをした。日本の子もよくする遊びが同じだ。休み時間はもちろん英語だったが、帰る時は「さようなら」と自分から日本語で話してくれた。



# ⑥ サンプソン先生にインタビュー

→ サンプソン先生

**Q1** 普段授業でしている事は何ですか？

- A**
- ① キャラ弁作り(日本の白米と女子きなおかずを使って。)キャラ弁を作る前の授業でみんなに作りたいキャラ弁の計画を立ててもらう。そして先生がそのみんなの計画に沿って買いに行っている。作っているキャラクターに多いのはスヌーピーやポケモン、クマモンなどが多い。
  - ② 折り紙や画用紙を使って色々な物を作る。(7月にいほせでも日本と同じ様にやる)
  - ③ 日本の文化とアニメのゲーム(考女室にこけしやタルマ、浴衣が置いてある。)
  - ④ 減る減るゲームと何何ゲーム
  - ⑤ 単語せ文の系練習(たまに)
  - ⑥ 50音練習など
  - ⑦ 日本の文化の教独を工夫して漢字バージョンにし使っている。



**Q2** テストはありますか？

**A.** 毎週一度ある。(ミニテストが。)このテストは成績には関係なく、みんなの今の実力を正確に測り、そしてこれがどの様なところを中心白々にせるかを考えるためのテスト。主に小学一年生の漢字が何問か出される。他にも学期末テストがある。これは、話す、聞く、書く、読むこと全てが出されるし、成績にも関係する。日本語は中一の時は必ず各科目だけけど中二からは自分で女子きなおかず(必要とする科目)を自由に組み立てて授業をすることが出来る。そのため日本語を上手に話す子と上手に話せない子との差が生まれる。

**Q3** 日本みたいに替え歌で単語を覚える習慣はあるか？

- A.** 沢山あるよ。例えば、...
- ♪ ひびがなラップ
  - ♪ ロンドン木舎の歌のリズム → 日にち
  - ♪ あたまかたひさかほんの曲 → イ体のパーツ (小さい頃日本の子は良く歌ってたかな?)
  - ♪ サンプソン先生が作ったリズム → (前・上・下ななめ) (左手・右手・左足・右足・真ん中)を覚えることができる。

**Q4** 漢字の形はどう覚えさせている？

**A.** そのまま漢字を覚えさせるのは覚えにくくなってしまふので、形々の由来が覚えさせる。例えばは...

馬 → 馬、子 → 子、他にも組み合わせで...

木交 → 木、tree → 木、SIX → 六、CROSS → 交、Cross など。









## ⑧ 気づいたこと

「フラワーガレッジ」で授業を受けて、ワセ牛は「シチヤ」「ナカ」「ヨンヤ」「シ」の様に2つの読み方があるので、皆んな苦算していました。でも、先生が考えた減る減るゲームをすると、皆んな大笑いしたり、夢中になってやっていたので、楽しみながかり覚えられていいなと思いました。

一日目の授業で、日本のアニメや文化のゲームで、日本人よりも日本の問題に詳しいと思った。このことから、さすが着座から授業で日本のことについて耳を刺とれているだけあるなと思いました。また、皆んな日本に興味を持って、くれていることが分かり、嬉しく思いました。

生徒のノートを見て気づいたことは、ひらがなの間違え方が、金魚文字になっていて、日本の子どもも間違え方と似ているなと思いました。また、日本人が初めて英語を学習する時に、dをb、ソをkと書いてしまうのと同じなんだと思った。

その他、日本と曜日の覚え方が似ていて、金日曜日はお金の絵、水日曜日は水の絵を書き、イメージしやすく覚えやすくしていました。

## ⑨ 感想

私は今回このことについて言周べてウオーナシブルはミシ浦よりも海外(日本)の文化などをとて子ども達に伝えていっているなと思いました。例えば日本のアニメにとて言ましかったり、ひらがなカルタ、ダルマ、こけし、ちゃんちゃんこ、折り紙、ちょうちん、カブト、まきねこ、ひな人形、ダルマおとし、タモ、などの多くの日本の文化を知っていたからです。また孝女室には常にこれらの作品が飾ってあり、とても身近に感じられると思いました。

小学一年生であとに日本語を習っている為、「さんにはい」や「ありがとう」や「あれは何?」「女子まなことはんです」「さようなら」など、沢山話すことが出来るのも早くから日本語や日本の文化について学習しているからだと思いました。

その他、日本の授業では、初めに文法とかはわかりで、いざ言語し出すのは遅いけど、ウオーナシブルの生徒達は、書けなくても、最初にどんどん言語して、土手に言語せるようになり、後から言語した言葉が、書けるようになっていたので、そこが日本とは逆で違う所だと思いました。

私は、海外の人と言語せるようになりたいので、日本のやり方よりも、ウオーナシブルのやり方の方が早く言語せる様にはなるので、良いなと思いました。

またウオーナシブルのように日本も黒板とノート、孝女科書を使うだけの授業ではなく、もっとアクティビティーな授業を今よりも増やして欲しいなと思いました。例えば、さまざまな国の文化を知る授業や、皆んなで英語を使ったゲームをしたりです。そうすれば、もっと日本の皆んなが英語に興味を持って、くれたり、英語を女子まになるのではないかなと思いました。



